

認知機能強化トレーニングの体験 & 認知作業トレーニング・トレーナー 養成ワークショップ 初級

教室の困っている子を支える

次世代トレーニング

「みる、きく、想像する」といった基礎学力の土台が弱く、学習面で困っている子どもたちや、不器用で身体面で困っている子どもたちのための新しい支援方法をご体験いただくワークショップです。



日時

2019年3月9日(土)
13:00~16:30

会場

全水道会館(水道橋駅)
4階 大会議室

定員

60名(先着順)

参加費

5,000円(支払いはお振込みのみ)

事前準備費・会場費等の関係上、ご入金後にキャンセルや欠席の場合、返金はいたしかねますことをご了承ください。

講師

宮口 幸治

立命館大学教授・児童精神科医

元法務省宮川医療少年院法務技官。発達上の課題を抱えた非行少年への支援に長年取り組み、その成果を学校教育現場などに紹介している。コグトレ研究会代表世話人。

石附 智奈美

広島大学大学院講師・専門作業療法士
コグトレ研究会代表世話人

宮口 英樹

広島大学大学院教授・認定作業療法士
コグトレ研究会代表世話人

お申込みについて

下記内容をメールもしくはFAXにてご連絡ください。いずれもタイトルに「3月9日/初級申込み」としてお送り下さい。

①氏名・フリガナ(フルネーム) ②所属勤務先 ③職種
④メールアドレス ⑤電話番号 ⑥振込者名義

1週間以内に確認のメールおよび振込口座についてメールにてご連絡いたします。先着順となりますので、定員に達した時点で、キャンセル待ちのご案内となります。ご了承下さい。

※モバイルメールの場合、ドメイン設定(受信拒否設定)をされている場合は、拒否解除もしくは弊社ドメイン「shopro.co.jp」を受信リストへ加えてください。PCメールをご利用の場合にも自動的に迷惑メールフォルダなどに振り分けられてしまうなどのケースがございますので、確認のメールが届かない場合には、ご確認をお願いします。

メール jidou@shopro.co.jp

FAX 03-3515-6799

受付窓口:(株)小学館集英社プロダクション(担当:稲垣)

タイムスケジュール

- 12:30 受付
- 13:00 導入
- 13:15 認知機能強化トレーニングの体験
- 14:00 認知作業トレーニング・トレーナー養成ワークショップ（初級コース）
（休憩・準備・情報交換会を含む）
- 16:30 終了・認定証授与

【持ち物】新聞紙 20枚（朝刊約3日分）

- ★当日は運動のできる服装でおいで下さい。
- ★ご持参いただいた新聞紙で新聞棒を作成します。終了後は各自でお持ち帰り下さい。

これまでのワークショップの主な参加者

- 小・中・高等学校の教諭（特別支援教育担当も含む）
- 福祉施設支援人・保育士
- 作業療法士・臨床心理士
- 学習塾講師・大学教員
- 医師・看護師

会場アクセス

【全水道会館】



東京都文京区本郷1-4-1 4階 大会議室

【アクセス】

JR 水道橋駅 東口（お茶の水駅より）より2分
都営地下鉄三田線水道橋駅 A1 出口より1分

※本講座に関するお問い合わせは、会場では受け付けておりません。03-3515-6862 までお願いします。

関連書籍

コグトレ みる・きく・想像するための 認知機能強化トレーニング／三輪書店



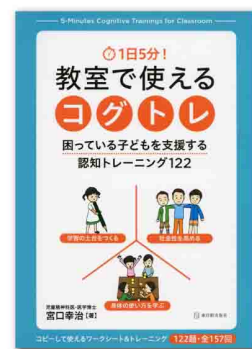
コグトレとは、認知機能に含まれる5つの要素（記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断）に対応する「覚える」、「数える」、「写す」、「見つける」、「想像する」力を伸ばすための紙と鉛筆を使ってできるトレーニングです。複数の小・中学校、施設等で採用されています。

不器用な子どもたちへの認知作業トレーニング ／三輪書店



発達障害や知的障害をもつ子どもたちの中には、身体的不器用さを併せもつ子どもがいます。不器用さゆえに身体を使った動作や作業が難しく、周囲とうまくなじめない子どもも少なくありません。認知作業トレーニングはそうした不器用な子どもへの支援のために考案されたプログラムです。複数のメディアで取り上げられています。

「1日5分！ 教室で使えるコグトレ」 —困っている子どもを支援する認知トレーニング122— ／東洋館出版社



学習への取り組み、感情のコントロール、人との接し方……発達障害に限らず、学校で困っている子どもは学習・生活面で共通した課題を持っています。

本書では、クラスでコグトレを実施するための全122ワーク・全157回分を収録し、一年をかけて子どもを支援していくことができます。困っている子だけでなく、クラス全体で互いに楽しみながら認知の能力を育み、子どもたちの困りを解消していくために最適なトレーニングです。もちろん、個別に支援が必要な子どもに特化した使い方も紹介しています。